

# ことしの市政はこんなに

## 市政方針



新しい生活環境の整備された都  
市づくりと農業振興のための農業基盤の整備を二本の柱として、調和のとれた商工業の発展をめざします

市が発足してから十四年を経過、苦しい財政状況をのりこえ、懸案の新庁舎も完成し、心を新たに十五年度の市政に取組む。

南園市は、交通運輸面で国道32号、55号、59号線、建設が予定されている四国縦貫高速道路、高知東道路、高知空港など高知市を中心とする県中部（人口50万、63%、面積42%）の中心としての位置にあること、高知市と直接接する最もよい県唯一の平野地であること、物部川、国府川の豊富な水資源にめぐまれていることなど、自然環境、生活環境に恵まれており、最近の高知市の過密化、環境の破れから、十市のパークタウン（約三千戸、一万二千人）開

## 財政・総務

健全財政を目標に自主再建計画をたて、赤字解消のため努力して来ている。その結果46年度にはほぼ均衡のつれた状態になっているが、たび重なる災害、庁舎建築、急激に進展する社会経済の中で、益増大し、多様化する市民要求にこたえるための諸事業を積極的

豊の住宅用地（七〇〇戸、三千人）刑務所の移転、ミロク製作所の移転、また県庁まで南園市に移転したらどうかという話が出るほどで、高知市の副都市としての役割と住宅用地、工業用地などの需要が増大しており、このような情勢の中で無秩序な生活環境と農業を破れ、公害、災害を誘発する開発や土地の買い占めをゆるすことなく、道路、上下水道自然保護と環境整備、区画整理事業などの都市基盤と、農協との積極的なタイアップによる農業基盤の整備をはかり、都市づくりと農業振興とを二本の柱として調和のとれた商工業の発展を進める。

取得、造成事業を行う開発公社に十億円、土地開発公社に十八億円の事業予算を計上した。また、「政を為すは、人に在り」といかに制度を論ずるとも、その人にあらずれば行われがたし」といわれるように、急テンボな行政需要にこたえるサービス向上のための行政機構を改革すると同時に、職員に責任を明確にし、高能力な仕事が出来よう職員研修と能力開発を行い、職員の処遇の適正化、新陳代謝に重点をおき努力する。

## 民生・福祉

新庁舎に移転して明るくおちついたムードになり、職員の間も一転したように思われるが、とくに窓口業務にたずさわる職員の方については、きびしい指摘を受けており、今後さらに市民から親しまれると同時に、迅速正確な事務処理ができるよう職員の研修と事務処理システムを研究改善する。

市民相談にも応ずるため、係長以上の職員を半日交替で勤務させ、市政の窓口として、市政に対する要望、苦情などいろいろの相談に応じ市民とのつながりを深めるように努める。

本年度も、国・県を通じて福祉優先の政策が強く打ち出されており、また、市民のきめの細かい福祉行政への期待もますます増大しており、拠出年金、福祉年金の増額、老人福祉、児童福祉、母子福祉、精神者、身障者対策、保育所の充実などきめの細かい配慮と、思い切った施策を講じ健康で明るい南園市をつくるよう努力する。

稲生の石灰公害、北部地区の石灰石採掘による公害、ゴルフ場建設による災害など、それぞれの企業と公害防止協定を結び防止のための努力をしているもの、地域住民からはまだまだ強い危うと不満がある。今後も強力な行政指導を行い住民の要望にこたえたい。また最近、畜産による悪臭、し尿処理などの公害苦情が続出している。

在、長岡廿枝地区に住民の協力を得て公害のない焼却処理場を建設中で来年度には完成の予定である。ゴミの収集については市内全域を週一回、袋収集のステーション方式で業者が委託して収集を行っているが、さらに完全なものにしていく。

全国的に問題が投げかけたヒートショックも、県、農協関係各機関市民の積極的な協力により改善されつつある。

今後市にとっても開発と公害、環境破れがますます問題になると思われるので、開発の環境に及ぼす影響を事前につみ、未然防止を重点にとりくみたい。

し尿処理場建設についても、すぐにも建設に取りかかるべく建設場所を選定につとめているが、積極的に協力がなければ実現いたしがたい。

しかし、川をみるとまだヒートショック、その他のチリが流されており、

このため、市役所でも四月二十九日の天皇誕生日から行なうことになったものです。

職員の手当に二千万円、勸奨退職者四人、普通退職者二人の退職金として二十九十万円、黒滝し尿浸透槽新設のため四十二万円を追加道

報告など七件が、それぞれ承認、可決された。

臨時市議会

職者の給料など人件費を九百二十五万円減額。歳入は、特別交付税一千二百七十四万円をあて

日曜と重なる祝祭日は翌日へさきの国会で、国民の祝日に関する法律が改正され、祝日が日曜日と重なるときは、その翌日が休日とされることになりま

開発公社への損失保証十億円に財団法人南園市開発公社が行なう公用地の先行取得などの事業資金の借入枠を、五億円から十億円に変更しました。

このため、一般会計の総額は、三十六億三千四百二十七万円になりました。

## 産業経済

農業振興 工業生産を主体とした経済成長は、農業と工業の不均衡を大きく拡大し、インフレと不当な土地の買い占めによる地価の高騰をよび、農産物の価格の大

衛生、精神衛生、ガン対策、老人成人病の予防など、関係機関の協力を得て市民の健康管理に万全を期す。

交通安全対策については、南園市の自動車保有台数は一戸に一台を突破したといわれており、事故はさらに増えると思われるので、道路の改良、カーブミラー、ガードレール、街路照明などの安全施設の設置と交通傷害保険も今年は四百八十円と引き上げ市民のものとしてほしい。

同和行政 同和問題は、人類普遍の原理である人間の自由と平等に関する重要な問題であり、基本的な人権にかかると全市民的な課題であるという考えのもとに、行政に直接たずさわる全職員の研修、広報なんこくでも取りあげ全市民がこぞって研修すると同時に国・県にも強力に働きかけ、同和对策審議会の答申をも得て、同和行政の推進体制の充実、環境の根本的整備、産業経済対策など積極的に取りくんでいく。

米の生産調整については、遠からず世界的な食糧危機が来るといわれており、我が国においても一時はたまった古々米、古米も最近は一カ月分の災害備蓄米しか残っていないといわれている。

農地の転用はみだりにゆるさず、あくまでも農用地を確保するという観点から、「農地を守る運動」が、農業会議を中心として全国の農業団体の手で強力に進められようとしている。

市としてもこの運動を支持し、農用地の確保と無秩序な農地への浸蝕を防ぎ、生産基盤の整備と生産の組織化、機械化による体質改善と、農業環境を総合的に整備しなければならぬ。

消費者は質のよい米を求めると、質のよい米作りと、自主流通米の販売ルートを開拓し、積極的な減反はさしひかえるべきだと考

施設園芸、果樹、葉タバコなどの特用作物の振興のため、大型施設と流通販売体制の改善、価格暴落対策として県施設野菜価格安定基金協会の内容充実、農業振興地域指定と整備計画を樹立し、農村

施設等総合整備事業、(約八億)高  
能率生産地整備事業、広域営農  
閉地農道整備事業(約十二億)  
畜産振興のため、畜産閉地の建  
設などの事業を農協とタイアップ  
して積極的に進める。

## 商工水産・観光

商工会館の建設を行ない商工会  
と協力、商業環境の整備と魅力あ  
る商店街づくりのための体質改善  
公害のない市民にプラスになる工  
業の導入など商工業の発展をはか  
る。

水産振興では漁協の合併を促進  
し、「捕る漁業から作る漁業」へ  
の転換を重視して研究していく。  
観光面では、高知市の近郊性と  
田園性という地域の特性を生かし  
て、近郊公園、一日ハイキングコ  
ース、史跡など近郊行楽地として  
の施設と環境を整備する。

## 建設

道路整備 道路はあらゆる産業  
発展の基礎でありますので、積極  
的に改良舗装を行なう。

市道の総延長は五二〇、〇〇〇(約  
一三〇里)あり、広域市町村圏整  
備事業、町村事業、開発公社、基  
幹生活道、集落整備事業など約三

億円の事業費で実施し、市道総延  
長のうち六五割を改良舗装する

河川改良 治水施設の整備が非  
常におくれ、毎年のように水害に  
みまわれており、河川改修の促進  
治山砂防事業を強力に推進しなけ  
ればならない。

中小河川対策、土石流対策、地  
すべり急傾斜地対策、生活環境の  
整備をはかるための都市河川対策  
洪水調節と水資源の確保について  
総合的な開発利用の促進をはかる。  
災害関連事業として、国府川、  
領石川、笠の川、山崎川、下田  
川、才谷川、奈路川などを改修し

明見川、新秋田川、錆野川、後川  
王子川などについても総合的に改  
修を実施する計画である。  
急傾斜、がけくずれ対策につい  
ては、危険区域の指定数は二区域  
四〇箇所、特に危険な箇所より  
継続実施する。また昨年九月集中  
豪雨によるがけくずれ防災対策必  
要箇所三一九所についても実施す  
る。

都市計画 高知広域都市計画で  
市街化区域は後免町を中心とした  
三三〇〇の面積となっているが、  
そのうち中央地域の約三〇〇の面  
積について区画整理事業を事業費  
約一〇億円(うち市費二億六千万  
円)で四年度に計画、四年度から  
53年までの5カ年で実施し、街路  
公園、公共上下水道を整備する。

## 教育

南国市教育行政方針にもとずい  
て学校教育、社会教育施策を実施  
しているが、本年度は、特に次の  
ような重点項目を中心に教育の向  
上をはかる。

学校教育の面では、健康安全教  
育の徹底、道徳教育の推進、同和  
教育の向上、機器教育の発展、郷  
土愛護教育の充実、教育研究所の  
充実、また、葦中の改築、北陵中  
のプール建設、その他、教育施設、  
推進、体育施設の整備、体育団体

備品を整備し、よりよい環境づく  
りを進める。  
社会教育の面では、生涯教育と  
しての社会教育の認識を深め、青  
少年の健全育成、成人教育の充実  
同和教育の徹底を重点目標とし、  
公民館、集会所、青年の家、児童  
館などの施設の充実、婦人学級、  
大型青年学級、高令者学級、青年  
の船、三代青年のバスなど、とく  
に同和教育については同和教育指  
導係を新設し充実をはかる。

## 消防

新しい消防庁舎建築が完成する  
ので、時代の要求する消防防災態  
勢に即応するための常備消防体制  
の強化、消防団施設の整備、消防  
団員の処遇改善に一層努力する。  
(企画財政課)

市の連合青年団は、三月十六日  
定期大会を開催し、新団長に神田  
彰君(浜改田)を選び、ことしの  
行事計画を決めました。  
主な行事は親睦会(五月)豊年  
祭(九月)愛のもちつき(十二月)  
成人式(二月)のほか運動会、  
ソフトボール大会、各種研修会な  
ど。とくに豊年祭は、南国おどりの  
復活を願い、市民に憩いとやす  
らぎを与え、市民祭的なものにし  
ようという計画です。  
また、昨年からは行なっています  
「愛のもちつき」は、市内の四施  
設(希望の家、南海学園、希望ヶ  
丘学園、清風園)を訪れ、もちつ  
きを通じて心のふれあいを深めよ  
うと計画したものです。

青年団では、奉仕活動、レク  
リエーション、研修を通じ、人  
格の形成を図り、そして仲間を  
つくりさらに地域社会の発展を  
図る方針です。青年男女の  
多数の加入を願っています。  
なお、新しい役員は、次のと  
おりです。  
副団長、恒石進一(西山)土  
居美弥子(十市)書記長、武市忠  
雄(大窪)会計、西村誠二(浜改  
田)文化部長、高野澄生(久礼  
田)体育部長、永森可寛(野田)  
情報部長、川添隆也(岡豊)産  
業部長、大崎徳男(長岡)女子部  
長、細谷智子(十市)監査、川  
添賢(岡豊)平田正光(奈路)  
島本衣(巖岩)



若い力でよりよい南国市を

SAFETY ADMINISTRATION

公園・河川・道路・海浜などをきれいに